

2022年度 公益社団法人神奈川県社会福祉士会  
横浜支部（横浜市社会福祉士会）  
全体会



日時：2022年5月29日（日）13：30～16：10

オンライン開催

2022 年度 公益社団法人神奈川県社会福祉士会  
横浜支部（横浜市社会福祉士会）  
全体会資料

1. 次第

- (1) 2021 年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・P. 2
- (2) 2021 年度地域連絡会活動報告・・・・・・・・P. 4
- (3) 2021 年度会計報告・・・・・・・・・・・・・・P. 7
- (4) 2022 年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・P. 8
- (5) 2022 年度地域連絡会活動計画・・・・・・・・P.10
- (6) 2022 年度予算・・・・・・・・・・・・・・P.13
- (7) 2022 年度幹事・・・・・・・・・・・・・・P.14

2. 参考資料

- (1) 支部組織及び運営規則・・・・・・・・・・・・P.15
- (2) (公社)神奈川県社会福祉士会横浜支部地域連絡会の設置等に関する確認事項  
・・・・・・・・P.18
- (3) 神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）のあゆみ・P.20
- (4) 横浜支部ロゴマーク、キャラクター及び Web サイト・・・・・・・・P.21
- (5) 2022 年度地域連絡会のご案内・・・・・・・・P.23

## 1. 次第

### (1) 2021 年度活動報告

#### 2021 年度活動報告（月別）

4月	・26日（月）幹事会	10月	・3日（日）「先輩社会福祉士に聞く」協力 ・15日（金）「倫理カフェ」（南部） ・16日（土）福祉のしごとフェア協力 ・23日（土）支部役員連絡会参加 ・25日（月）幹事会
5月	・24日（月）幹事会 ・30日（日）全体会 （オンライン開催）	11月	・毎週土曜（4回）関東学院大学実習協力 ・区民まつり参加（港北区） ・20日（土）基礎研修Ⅰ協力 ・21日（日）地域バザー参加（港北区） ・22日（月）幹事会 ・27日（土）ハグミプロジェクト
6月	・28日（月）幹事会	12月	・5日（日）基礎研修Ⅰ協力 ・20日（月）幹事会
7月	・3日（土）福祉のしごとフェア協力 ・10日（土）基礎研修Ⅰ協力 ・22日（木）ハグミプロジェクト ・26日（月）幹事会	1月	・24日（月）幹事会
8月	・7日（土）市民向け講演会（鶴見区） ・14日（土）インター支部会参加 ・22日（日）基礎研修Ⅰ協力 ・23日（月）幹事会	2月	・13日（日）市民向け講演会（港北区） &ハグミサロン ・28日（月）幹事会
9月	・27日（月）幹事会	3月	・19日（土）支部役員連絡会参加 ・20日（日）ハグミプロジェクト ・26日（土）ICT研修参加 ・28日（月）幹事会

○幹事会はオンライン開催でした。

○「ハグミサロン」は会員等の気軽な立ち寄り処です。

## ○市民向け講演会&ハグミィサロン



公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部  
講演会&交流サロン



神奈川県社会福祉士会横浜支部  
キャラクターハグミィ

### 「ダブルケア」について考える ～こどもの育児と親の介護…ダブルケアの実際～

少子高齢化が加速する中、地域の人間関係の希薄化や核家族化を背景に、育児・介護など複数のケアを抱える家族の問題が発生しています。これがダブルケアと呼ばれています。私たち社会福祉士会（横浜支部港北区連絡会）では、毎年「人権」「権利擁護」について学習会を開催してきました。前は、子どもの権利条約採択から30周年をふまえて子どもの権利をテーマとしましたが、今回はダブルケアという、さらに複合的な課題について、みんなで考えてみたいと思います。

家庭の問題は、社会の問題です。  
関心のある方の参加をお待ちしています！

ダブルケア月間実行委員会 HP⇒



また、私たち社会福祉士会（横浜支部）では、「社会福祉士の資格は持っているけど、これまで活動参加のきっかけがなかった…」「自分の所属だけでなく、様々な分野で活動している社会福祉士の仲間と交流したい…」などの思いをお持ちの方を応援するため、交流会サロン「ハグミィサロン」をオンラインで開催します。

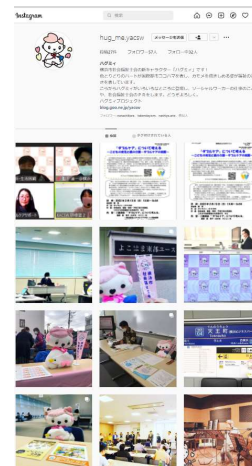
不安な方も参加しやすいよう、上記の講演会に続けて参加してもかまいませんし、「ハグミィサロン」だけの参加でもかまいません。

身近なところにソーシャルワーカーの仲間がいます。これを機に、社会福祉士会の活動に参加してみませんか？ みなさまの参加を心よりお待ちしております。

**日時：2022年2月13日（日）13:30～16:50**  
**参加費：無料**  
**方法：オンライン（ZOOM）**  
**対象：本会会員、福祉・教育・子育て等の支援者、これから社会福祉士を目指す方 など**  
**内容：①講演会「「ダブルケア」について考える」**  
 講師 東 恵子（あずま けいこ）氏  
 一般社団法人ダブルケアサポート代表理事  
 NPO 法人シャーロックホームズ理事長  
 ＊13：40～14：40 講演  
 ＊14：45～15：10 質疑応答  
**②交流サロン「ハグミィサロン」**  
 ＊15：20～16：00 ガイダンス&フレイクアウトルーム  
 ＊16：00～16：50 フレイクアウトルーム&共有

## ○ハグミィプロジェクト

インスタグラムの更新を16回行いました。



## (2) 2021 年度地域連絡会活動報告

### 1) 北部地域連絡会（青葉区、都筑区、緑区を中心とした地域）

定例会：原則偶数月第3木曜日に実施 会場：青葉区福祉保健活動拠点

#### 2021 年度活動報告

4月	22日(木)定例会 内容：近状報告	10月	
5月		11月	
6月	24日(木)定例会 内容：学習会「社会福祉士養成課程に関するレクチャー」	12月	23日(木)定例会 内容：学習会「家族信託のお話」
7月		1月	
8月	26日(木) 内容：近状報告、情報共有	2月	25日(木)定例会 内容：次年度計画、近況報告
9月		3月	

### 2) 港北区連絡会

定例会：原則偶数月第2木曜日 19：30～21：30 に実施

会 場：オンライン

#### 2021 年度活動報告

4月	・15日(木)定例会「里親制度」	10月	・14日(木)定例会「発達障害者支援」
5月	・13日(木)定例会「女性相談」	11月	・13日(土)ふるさと港北ふれあいまつり (オンライン開催)参加 ・21日(日)らくらく市参加
6月	・10日(木)定例会「全体会の感想」	12月	・9日(木)定例会「児童家庭支援センター」
7月	・8日(木)定例会「入管法」	1月	・13日(木)定例会「アルク事業」
8月	・12日(木)定例会「災害時要援護者支援」	2月	・10日(土)定例会 講演会打合せ ・13日(日)講演会&ハグミィサロン
9月	・9日(木)定例会「地域活動ホーム」	3月	・10日(木)定例会 講演会振返り

### 3) 鶴見区連絡会

定例会：毎月第3月曜日 18：30～21：00 に実施 会場：鶴見区福祉保健活動拠点

#### 2021 年度活動報告

4月	19日 「新型コロナ陽性者の発生」 ～その時事業者はどうするか～	10月	18日 生活保護制度等を取り巻く環境
5月	17日 「コロナ禍での防災」 ～災害時の避難の在り方について～	11月	15日 依存症について
6月	21日 「訪問看護・訪問リハビリ」 ～障がいのある方の事例について～	12月	27日 近況報告
7月	お休み	1月	17日 地域生活定着支援センターについて
8月	7日 市民向け講演会 「コロナ禍と精神疾患」 ～コロナ禍で心の平安をたもつ～	2月	21日 成年後見制度の実例
9月	27日 「生老病死について」 ～幸せになる因果をわかりやすく～	3月	28日 人生会議について

### 4) 中部地域連絡会（神奈川区、西区、中区を中心とした地域）

定例会：毎月不定期実施 会場：オンラインにて開催

#### 2021 年度活動報告

4月	中止	10月	中止
5月	中止	11月	11月20日（金）定例会 近況報告
6月	中止	12月	12月27日（日）定例会 近況報告・情報交換
7月	中止	1月	休会
8月	休会	2月	2月28日（日）ぱあとなあ地区会
9月	中止	3月	休会

## 5) 南部連絡会

(南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区、戸塚区を中心とした地域)

定例会：毎月第1金曜 19:30~21:00 に実施 会場：オンラインにて開催

### 2021 年度活動報告

4月		10月	15日オンライン 倫理研修会 (倫理カフェ)
5月	7日オンライン 活動報告	11月	5日オンライン 倫理研修振り返り
6月	4日オンライン 活動報告	12月	3日オンライン 近況報告
7月	2日オンライン 人権について	1月	7日オンライン 近況報告
8月	6日オンライン 近況報告 研修準備	2月	4日オンライン 近況報告 次年度計画
9月	3日オンライン 近況報告 研修準備	3月	4日オンライン 近況報告

## 6) 西部地域連絡会 (保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区、泉区を中心とした地域)

定例会：毎月原則第3木曜 18:30~20:30 実施 会場：旭区市民活動支援センター (みなくる)

### 2021 年度活動報告

4月	4月15日(木) オンライン 定例会：近況報告	10月	10月21日(木) みなくるにて開催 定例会：「児童家庭支援センターについて」
5月	5月15日(土) オンライン 【ばあとなあ】近況報告	11月	11月6日(土) みなくるにて開催 【ばあとなあ】事例報告
6月	6月17日(木) オンライン 【ばあとなあ】事例報告	12月	12月16日(木) みなくるにて開催 【ばあとなあ】事例報告
7月	7月15日(木) オンライン 【ばあとなあ】近況報告	1月	1月20日(木) オンライン 【ばあとなあ】近況報告
8月	8月19日(木) オンライン 定例会：「中核機関の専門職派遣から見た”支援の入口”とは」	2月	2月17日(木) オンライン 定例会：「法人後見と申立支援」
9月	9月16日(木) オンライン 【ばあとなあ】近況報告	3月	3月18日(木) オンライン 【ばあとなあ】近況報告

### (3) 2021 年度会計報告

#### 収入の部

(単価：円)

科 目			予算額	決算額	説 明	
款	項	目				
1 交付金			125,297	<b>125,297</b>		
	1 交付金		125,297	<b>125,297</b>		
		1 支部活動費		25,297	<b>25,297</b>	県士会より
	2 支部公益事業活動費		100,000	<b>100,000</b>	県士会より	
	2 補助金			0	<b>0</b>	
1 補助金			0	<b>0</b>		
2 寄附金			0			
	1 寄附金		0	<b>0</b>		
		1 寄附金		0	<b>0</b>	
3 諸収入			30,000	<b>4</b>		
	1 諸収入		30,000	<b>4</b>		
		1 事業収入		30,000	<b>0</b>	
		2 雑収入		0	<b>4</b>	利息
4 繰越金			374,703	<b>376,463</b>		
	1 繰越金		374,703	<b>376,463</b>		
		1 繰越金		374,703	<b>374,703</b>	前年度繰越
		2 前年度未精算分			<b>1,760</b>	県士会未払い仮払い等
収入合計			530,000	<b>501,764</b>		

#### 支出の部

(単価：円)

科 目		予算額	決算額	説 明
款	項			
	旅費交通費	82,000	<b>8,214</b>	養成校企画等スタッフ交通費
	通信運搬費	55,000	<b>0</b>	郵便代等
	消耗品費	37,000	<b>6,129</b>	広報用シール等
	印刷製本費	119,000	<b>8,740</b>	コピー代・全体会チラシ印刷等
	委託費	30,000	<b>30,000</b>	チラシ・シールデザイン
	諸謝金	180,000	<b>125,000</b>	講師謝礼
	支払負担金	20,000	<b>0</b>	区民まつり出店料
	支払手数料	7,000	<b>1,320</b>	振込手数料等
支出合計		530,000	<b>179,403</b>	
繰越金			<b>322,361</b>	



## (4) 2022 年度活動計画

### 2022 年度 公益社団法人神奈川県社会福祉士会 横浜支部（横浜市社会福祉士会）活動計画

2002 年 11 月 17 日（日）、横浜市開港記念会館に 80 名を越える横浜の社会福祉士が結集し、公益社団法人神奈川県社会福祉士会 横浜支部（横浜市社会福祉士会）が誕生しました。そして、同日の交流の場で、「より地域に密着した活動」「顔の見える関係作り」を進めようとの思いから、各区・地域の仲間が集まり、横浜支部の特徴的な取り組みの一つである「地域連絡会」活動が始まりました。

2022 年度の横浜支部は、この間の支部の歩みを大切にしつつも、ウィズコロナを模索する現在、これまでの取り組み・スタイルにとらわれない自由な発想を持ち、「いま会員が求めていることは何か」「いま地域で何を行うべきか」を考え活動していきます。そこで、下の 3 つの基本方針（地域支援、事業企画、情報発信）を掲げました。

社会福祉士は市民生活の応援団といえます。困難な状況にある今、一層、地域に心を寄せることの出来るソーシャルワーカー集団としての「横浜支部」の歩みを、一緒に創っていきましょう。

#### ◆基本方針 1【地域支援】双方向性を重視し、地域の福祉に貢献します

会員と共に社会福祉士として地域の福祉に寄与するために必要な取り組みを考え、進めます。そのため、地域連絡会の活動等を通じて会員の想いが支部運営に反映される双方向性を重視します。なお、コロナ禍にある現在、状況把握に努め、当面はオンラインを活用した運営を積極的に進めます。

取り組み：地域連絡会活動等への人的・物的支援、地域連絡会交流会（インター連絡会）の開催、地域の会合や「区民まつり」等地域イベントへの参加、基礎研修 I 協力「福祉のしごとフェア」協力

#### ◆基本方針 2【事業企画】社会福祉士同士が支え合い、育ち合う仕組み作りを進めます

横浜支部では「人と人のつながり」を通じて、「人から人へ伝えていくこと」を大切にしてきました。この想いを大切にしつつ、下記の取り組みを通じて、社会福祉士の「専門性」や「独自性」等について語り合い、考え合う場を持つと共に、仲間意識の醸成に寄与するような取り組みを進めます。また必要な取り組みを創出します。なお、コロナ禍にある現在、当面はオンラインを活用した取り組みを進めます。

取り組み：学習会の開催、ハグミプロジェクトの推進、気軽な立ち寄り処「ハグミサロン」開催、「先輩社会福祉士に聞く」研修の開催、県士会組織向上委員会企画協力

#### ◆基本方針 3【情報発信】支部活動の広報を進め、社会福祉士の魅力を発信します

地域連絡会の活動や、支部主催の研修、幹事会の様子、ハグミプロジェクトの進捗状況などをタイムリーに会員に紹介し、横浜支部全体の活動の「見える化」を進め、会員が支部活動に参加しやすくなる環境作りを進めます。また、市民への PR を積極的に行い、社会福祉士また支部活動への理解を促します。

取り組み：連絡会・活動報告・幹事会報告をブログ・フェイスブック・会員用メーリングリストで発信、ハグミプロジェクトの進捗をインスタグラム等で紹介、県士会広報への研修情報等掲載、研修・イベント等で支部活動紹介、支部パンフレットの更新

●2022 年度活動計画（月別）

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25日（月）幹事会</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2日（日）基礎研修Ⅰ協力</li> <li>・倫理カフェ（南部）</li> <li>・福祉のしごとフェア協力</li> <li>・支部役員連絡会参加</li> <li>・24日（月）幹事会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハグミプロジェクト</li> <li>・23日（月）幹事会</li> <li>・29日（日）全体会・講演会（オンライン開催）</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民まつり等参加（港北区）</li> <li>・12日（土）基礎研修Ⅰ協力</li> <li>・21日（月）幹事会</li> <li>・ハグミプロジェクト</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・27日（月）幹事会</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4日（日）基礎研修Ⅰ協力</li> <li>・19日（月）幹事会</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>（2～3日 東京大会）</li> <li>・福祉のしごとフェア協力</li> <li>・9日（土）基礎研修Ⅰ協力</li> <li>・25日（月）幹事会</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23日（月）幹事会</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け講演会（鶴見区）</li> <li>・インター支部会参加</li> <li>・21日（日）基礎研修Ⅰ協力</li> <li>・22日（月）幹事会</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け講演会（港北区）&amp;ハグミサロン</li> <li>・27日（月）幹事会</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・26日（月）幹事会</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハグミプロジェクト</li> <li>・支部役員連絡会参加</li> <li>・27日（月）幹事会</li> </ul>

○当面の間、幹事会はオンライン開催とします。

○学習会や会員の気軽な立ち寄り処「ハグミサロン」も開催する予定です。

## (5) 2022 年度地域連絡会活動計画

### 1) 北部地域連絡会（青葉区、都筑区、緑区を中心とした地域）

定例会：原則偶数月第3木曜日に実施 会場：青葉区福祉保健活動拠点

#### 2022 年度活動計画

4月	21日(木) 定例会 内容：近状報告、活動計画作成	10月	20日(木) 定例会 内容：青葉区区民祭準備、近状報告、情報共有
5月		11月	3日(火) あおば区民祭り参加 会場：青葉区役所 ※区民まつり開催の場合実施
6月	23日(木) 定例会 内容：学習会「障害福祉サービスの入口」	12月	22日(木) 定例会 内容：学習会
7月		1月	
8月	25日(木) 内容：青葉区区民祭準備（内容、役割分担、申し込み）、近状報告、情報共有	2月	16日(木) 定例会 内容：次年度の活動決定
9月	25日(木) 内容：青葉区区民祭準備（内容、役割分担決定）※区民祭り実施の場合開催	3月	

### 2) 港北区連絡会

定例会：原則毎月2水曜日 19:30~21:00 に実施

会場：オンライン

#### 2022 年度活動計画

4月	・13日(水) 定例会 今年度の計画検討	10月	・〇日(日) らくらく市 ・〇日(土) 区民まつり
5月	・11日(水) 定例会 「障害者サッカー」 ・29日(日) 全体会参加	11月	・9日(水) 定例会 「少年法改正と更生保護」
6月	・8日(水) 定例会 全体会講演会の意見交換 2月講演会内容検討	12月	・14日(水) 定例会 「バリアフリー図書」
7月	・13日(水) 定例会 「地域包括支援センター」	1月	・11日(水) 定例会 講演会打合せ
8月	・10日(水) 定例会 「生活困窮者支援」	2月	・8日(水) 定例会 講演会打合せ ・12日(日) 講演会
9月	・14日(水) 定例会 「里親支援」	3月	・8日(水) 定例会 講演会振返り、次年度検討

### 3) 鶴見区連絡会

定例会：毎月第3月曜日 18：30～21：00 に実施 会場：鶴見区福祉保健活動拠点

#### 2022 年度活動計画

4月	18日 定例会	10月	17日 定例会
5月	16日 定例会	11月	21日 定例会
6月	20日 定例会	12月	19日 定例会（※変更になる可能性あり）
7月		1月	16日 定例会
8月	市民向け講演会実施予定	2月	20日 定例会
9月	26日 定例会	3月	20日 定例会

※講演会については、7月～8月に実施の方向で調整中。

### 4) 中部地域連絡会（神奈川区、西区、中区を中心とした地域）

定例会：当面オンラインにて実施

#### 2022 年度活動計画

4月	4月24日（土）ぱあとなあ地区会	10月	10月23日（土）ぱあとなあ地区会 ※予定
5月	5月23日（日）定例会 成年後見を主なテーマとした自由懇談会	11月	11月28日（日）定例会 ※予定
6月	6月27日（日）ぱあとなあ地区会 ※予定	12月	12月26日（日）ぱあとなあ地区会 ※予定
7月	7月25日（日）定例会 ※予定	1月	1月29日（土）ぱあとなあ地区会 ※予定
8月	休会	2月	未定
9月	9月25日（土）定例会 ※予定	3月	未定

※予定は変更になる可能性があります。詳しくはホームページ等でご確認ください。

## 5) 南部地域連絡会

(南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区、戸塚区を中心とした地域)

定例会：原則毎月第1金曜 19:30~21:00 に実施 会場：オンライン

### 2022 年度活動計画

4月	1日 定例会	10月	7日 倫理カフェ
5月	6日 定例会	11月	4日 倫理カフェ振り返り
6月	3日 定例会 私の活動紹介	12月	2日 定例会 私の活動紹介
7月	1日 定例会 私の職場紹介	1月	6日 定例会 私の職場紹介
8月	5日 定例会 研修準備	2月	3日 定例会 私の活動紹介
9月	2日 定例会 研修準備	3月	3日 次年度計画

## 6) 西部地域連絡会 (保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区、泉区を中心とした地域)

定例会：毎月原則第3木曜 18:30~20:00 実施 会場：旭区市民活動支援センター (みなくる)

### 2022 年度活動計画

4月	4月21日(木) 18:30~20:00 定例会	10月	※予定 10月20日(木) 定例会
5月	5月14日(土) 14:00~16:00 【ばあとなあ地区会】事例報告	11月	※予定 土曜午後開催 【ばあとなあ地区会】
6月	6月16日(木) 18:30~20:00 【ばあとなあ地区会】	12月	※予定 12月15日(木) 【ばあとなあ地区会】
7月	7月21日(木) 18:30~20:00 【ばあとなあ地区会】	1月	※予定 1月19日(木) 【ばあとなあ地区会】
8月	8月18日(木) 18:30~20:00 定例会	2月	※予定 2月16日(木) 定例会
9月	※予定 9月15日(木) 【ばあとなあ地区会】	3月	※予定 3月16日(木) 【ばあとなあ地区会】

## (6) 2022 年度予算

## 収入の部

(単価：円)

科 目			予算額	説 明
款	項	目		
1 交付金			177,639	
	1 交付金		177,639	
		1 支部活動費	77,639	県士会より
		2 支部公益事業活動費	100,000	県士会より
	2 補助金		0	
1 補助金		0		
2 寄附金			0	
	1 寄附金		0	
		1 寄附金	0	
3 諸収入			30,000	
	1 諸収入		30,000	
		1 事業収入	30,000	研修受講料
		2 雑収入	0	
4 繰越金			322,361	
	1 繰越金		322,361	
		1 繰越金	322,361	前年度繰越
収入合計			530,000	

## 支出の部

(単価：円)

科 目	予算額	説 明
旅費交通費	69,000	研修スタッフ・幹事交通費
通信運搬費	55,000	
消耗品費	37,000	文具代、広報用物品代
印刷製本費	126,000	資料、広報チラシ印刷代
貸借料	8,000	会場費
委託費	30,000	デザイン委託料
諸謝金	180,000	講師謝礼
支払負担金	20,000	区民まつり出店料
支払手数料	5,000	振込手数料
支出合計	530,000	
差し引き	0	

(8) 2022 年度幹事

2021・2022 年度（第7期） 横浜支部幹事名簿

	氏名	役職	連絡会	ひとこと
1	江原 顕	支部長	港北区	専門職大学院に入学しました。研究を深めて、また実践に活かしていきたいです。
2	一色 茂雄	副支部長	鶴見区	県士会内でネット活用を推進中。入会申込がインターネットから可能になりました。
3	尾形 淳子	副支部長	南部	県士会は組織向上委員会、広報委員会、多文化 SW 委員会に所属しています。
4	坂元 正樹	副支部長	北部	これまでの業務で培ってきた経験を活かし、諸活動に取り組んで参ります。
5	中島 礼子	会計	西部	多様な人が集う横浜が気に入り、住み始めて 29 年。成年後見を中心に様々な仕事をしています。
6	松下 圭一	幹事	港北区	児家センに勤務しています。毎月第二水曜日に連絡会を行っています（ZOOM）。楽しく活動しましょう！
7	佐藤 永弘	幹事	鶴見区	鶴見区で高齢福祉分野に従事しています。県士会は選挙管理委員会に所属しています。
8	小島 貴美子	幹事	西部	様々な方々の社会復帰のお手伝いをしながら、地域におけるネットワークの重要性を認識しています。
9	佐藤 みゆき	幹事	北部	横浜北部地区の社会福祉士の拠点作りを目標に取り組んでいきたいと思ひます。
10	谷川 謙	幹事	中部	様々な方々と出会い、日々勉強させていただいています。
11	徳田 千春	幹事	南部	還暦になりました、第二の人生が始まりました。やりたいこといろいろあります！
12	坂本 菜々	幹事	南部	皆さまとの出会いの糸を紡いでいければと思ひます。南のほうでお待ちしております！
13	日向 明	幹事	南部	試験合格以来、広報一筋！任務推敲中！

## 参考資料（１）

### 支部組織及び運営規則

#### （趣旨）

第1条 この規則は、公益社団法人神奈川県社会福祉士会（以下「本会」という。）定款第3条の目的及び第60条支部組織規定に基づき、より県民に近い地域で行うことが望ましい公益事業等を行うために支部の設置並びに運営に関して必要な事項について定めることを目的とする。

2 本会は、会員が、情報交換、県民のニーズの把握及び共有、支援に必要な専門知識及び技術の向上のために必要な事項について定めることを目的とする。

#### （目的）

第2条 支部は、第4条に定める区域を単位として本会会員の組織化、県民のニーズの共有、情報交換、研鑽をすすめることにより、身近な地域で活動できる場を作り、地域福祉の向上に寄与することを目的とする。

#### （事業）

第3条 支部は、定款第4条に定めるうち、身近な地域で展開することが望ましい事業を実施する。

- （１）支部内の社会福祉の援助を必要とする市民の権利擁護及び生活の向上に関すること。
- （２）県民の権利擁護及び地域福祉に対する意識の向上（啓発）に関する事業
- （３）支部内県民への社会福祉に関する知識及び技術の普及に関すること。
- （４）他の福祉専門団体、医療機関等への知識・技術の提供及び協力・連携に関すること。
- （５）支部内会員の資質の向上のための研修会等、会員の研鑽に関すること。
- （６）会員間の情報の共有及び協力・連携に関すること。
- （７）その他支部内で必要と思われる事業。

#### （支部の設置）

第4条 支部は複数の市町村を単位とし、その構成は別表とする。

- （１）横浜支部
- （２）川崎支部
- （３）相模原市部
- （４）横須賀・三浦支部
- （５）湘南東支部
- （６）湘南西支部
- （７）県央支部
- （８）西湘支部

2 支部設置は、所属する会員数、機能性、地域性等を勘案し、より効果的に活動することが行えるように支部の改編をする。

#### （支部会員）

第5条 支部は、区域内に住所を有する本会員をもって、組織する。ただし、届け出により勤務地により所属を変更することができる。

- 2 支部会員は、本会会員として承認された時から支部に所属する。
- 3 県外在住会員については、勤務地の支部に所属する。

#### （支部役員）

第6条 支部には次の幹事を置く。

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| （１）支部長          | 1名    |
| （２）副支部長         | 1～3名  |
| （３）会計           | 1～2名  |
| （４）幹事           | 5～10名 |
| （５）その他支部長が認めるもの | 若干名   |



2 幹事は、以下の方法で選任し、理事会の承認の後、会長が委嘱する。

- (1) 支部長は、支部会員の中から選出するものとする。
- (2) 幹事は、支部会員の中から選出するものとする。
- (3) 副支部長及び会計は、支部長が幹事の中から指名するものとする。

(職務)

第7条 支部長は、支部を代表し、支部の事業・運営を統括する。

- 2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が職務を遂行できない状況に陥った時、その職務を代行し職務を行う。
- 3 幹事は、幹事会を構成し、支部の事業を推進する。
- 4 会計は、支部会計を適正に執行する。

(任期)

第8条 支部幹事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないが、連続4期を越えることはできない。

(会議及び役割)

第9条 支部の会議は以下の通りとする。

- (1) 支部全体会
  - ア 事業計画及び予算
  - イ 事業報告及び決算報告
  - ウ 幹事の選出
  - エ その他支部の重要事項
- (2) 支部幹事会
  - ア 事業計画・予算の立案
  - イ 事業運営（計画実施に必要な調整等）にかかわる事項
  - ウ その他支部活動にかかわる事項
- (3) その他

(会計)

第10条 支部の経費は、本会活動費及び参加費、寄付金によってまかなう。

- 2 支部の事業計画及び予算案は、その内容を本会理事会に提出し、理事会でその承認を得るものとする。

(支部活動費)

第11条 支部活動費は、「共通基本額」にほか、事業規模、会員数などを勘案した「活動奨励費」によって構成され、支部活動支援事業費の予算の範囲内で支部に交付するものとし、交付額については、公益社団法人神奈川県社会福祉士会支部活動費交付細則（以下「支部活動費交付細則」という。）で定める。

2 第3条第7号の事業において、公益性が高いと理事会において判断された場合、その事業計画・予算に基づき「共通基本額」及び「活動奨励費」とは別に支部活動支援事業費の予算の範囲内でその経費を交付するものとし、交付額については、支部活動費交付細則で定める。

3 支部活動計画及び予算案は、前年度、理事会で定められた期日までに本会へ提出するものとする。

4 支部活動費の清算（決算）報告は、毎年4月10日までにを行うものとする。

(改廃)

第12条 この規則の改廃は、理事会の決議による。

附則

1. この規則は、2013年4月1日から施行する。
2. この規則は、2017年10月15日から施行する。

2013年5月26日制定

2017年10月15日改訂

## 別表

支部名	市町村名
横浜支部	横浜市
川崎支部	川崎市
相模原支部	相模原市
横須賀・三浦支部	横須賀市 三浦市 鎌倉市 逗子市 葉山町
湘南東支部	藤沢市 茅ヶ崎市 寒川町
湘南西支部	平塚市 秦野市 伊勢原市 大磯町 二宮町
県央支部	綾瀬市 厚木市 大和市 海老名市 座間市 愛川町 清川村
西湘支部	小田原市 南足柄市 大井町 中井町 松田町 山北町 開成町 箱根町 真鶴町 湯河原町

※県外在住の会員は、その勤務先あるいは最も住所地に近い支部に所属するものとする

## （公社）神奈川県社会福祉士会横浜支部地域連絡会の設置等に関する確認事項

### 1. （公社）神奈川県社会福祉士会横浜支部（以後、「横浜支部」）について

#### （１）設立

2002年11月17日（日）、横浜市開港記念会館に80名を越える社会福祉士が結集し、（公社）神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）の設立が宣言されました。

当面の目標として、

- 横浜支部の組織率を向上させ、支部としての組織固めを図ります。
- 横浜市あるいは区単位の身近な地域で活動できる基盤整備を行います。
- 横浜支部としての地域特性を生かした事業を県社会福祉士会、県他支部との連携を図りながら行います。

が、総会で確認されました。

※当日の様子はこちらを参照してください。

→<http://www.asahi-net.or.jp/~zi8y-SD/yacsw/yacsw1.html>（現在閲覧不可）

#### （２）横浜支部の活動目的（HP より）

横浜市内を活動範囲として、社会福祉における相談援助の専門職である「社会福祉士」の持っている知識や技術等を地域福祉の促進に向けて提供し、貢献することを目的として活動しています。

高齢・児童・障害・生活保護等様々な分野で働く社会福祉士が地域の住民の方々と共に安心して暮らし続けることの出来る地域づくりに取り組んでいます。

### 2. 横浜支部地域連絡会（以後、「連絡会」）の設立

横浜支部が設立された同日、連絡会も設立されました。これは横浜支部の「当面の目標」にある「横浜市あるいは区単位の身近な地域で活動できる基盤整備を行います」の目標に基づいたものです。

この時、鶴見区、港北区、栄区などが、「社会福祉士同士が地域で顔の見える関係を作ろう」「悩みや学びを共有しよう」と、まず先行して連絡会活動を開始しました。その後、「区単位での活動は現状難しいが、でも仲間が集える、学び合える場がほしい」との会員の声を受け、「ブロック単位」の連絡会が設立されました。

### 3. 連絡会活動が目指すもの

以下の通りとなります。

- 会員同士が顔の見える関係を作る
- 社会福祉士として必要な学びや交流を深める
- 地域の諸団体と積極的に関わることで、社会福祉士および社会福祉士会の活動への理解を促進する
- 社会福祉士会への加入促進を促し、仲間を増やす。

### 4. 連絡会の設置や活動のめやす

連絡会活動は横浜支部の活動です。社会福祉士会の会員相互の学びと交流を保障する場であるとともに、これから社会福祉士を目指す方の参加を保障する、オープンな活動が求められます。そこで、連絡会の設置や活動にあたり、下記の点をめやすとします。

## (1) 設置

- ① 3名以上の設立発起人（会員）がいること ※現在、在勤・在住は問いません
- ② 横浜支部幹事会との連絡役を置き、事前折衝が行われていること  
※連絡先：横浜支部専用Eメール hamajimu@hotmail.co.jp
- ③ オープンな連絡会運営を目指していること
- ④ 活動計画を作成していること

## (2) 活動

- ① 横浜支部幹事会に「幹事」を1名以上派遣すること  
役割としては、連絡会と横浜支部幹事会とのパイプ役です。  
連絡会の「想い」や「要望」などを横浜支部幹事会に届けるとともに、横浜支部幹事会での会議内容等を連絡会会員に伝え、情報の共有化を図ります。  
横浜支部全体と連絡会、相互の活動がより活発になることを目指しています。
- ② 連絡会内で役割分担を決めること  
連絡会を組織的に活動していくために必要となります。  
例) 「地区社会福祉協議会への加入」「地区の区民祭りへの参加」「他団体との共同の企画」などの取り組みを進めるためには、「役員体制」とまでは言いませんが、連絡会の中で「世話人（窓口担当）」などの役割は決めておく必要があります。
- ③ 活動の拠点を定めること  
連絡会活動の基本は身近な地域で、会員相互また地域の諸団体との関係を深めていくことにあります。また、社会福祉士を目指す人、新たに連絡会活動に参加しようとの思いを持つ人たちとのつながりを作ることも大きな役割です。このため「集いやすい場所」の確保は大切なこととなります。  
例) 各区社会福祉協議会（福祉保健活動拠点）、  
障害者地域活動ホーム（地域交流室）  
ケアプラザ（各種貸室）  
地区センター（貸室）など
- ④ 定期的に活動を行うこと  
定期的に活動を行うことで、会員相互の関係を深めるとともに、地域における社会福祉士の取り組みの周知にもつながります。また、社会福祉士を目指す人、新たに連絡会活動に参加しようとの思いを持つ人たちとのつながりの場となります。
- ⑤ 支部の予算を使う場合には、年間2万円以内をめやすとして、横浜支部幹事会と協議すること

## (3) 活動の休止

連絡会活動は横浜支部の活動計画に位置づけられた活動です。やむを得ず休止する際には、以下のようになります。

- ① 休止について、連絡会内で複数の会員で議論する
- ② 横浜支部幹事会にて報告し、適宜、協議を行う

2016年2月8日 横浜支部幹事会にて確認

## 参考資料（3）

### 神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）のあゆみ

- 1993年 県士会県内4ブロックに分け地区活動推進する方針（川崎と地区活動へ）
- 1994年 阪神大震災募金活動
- 1995年 横浜地区・川崎地区分かれて活動へ
- 2001年 支部活動検討
- 2002年 横浜支部（横浜市社会福祉士会）設立 初代須田支部長就任
- 2003年 ホームレス夜間街頭相談 港北区連絡会活動開始
- 2003年～2006年 つるふく（鶴見区連絡会）・南部地域連絡会活動開始
- 2006年 劇団かもめ座、中野地域ケアプラザにて上演
- 2007年 第2代菅野支部長就任
- 2008年 日本社会福祉士会全国大会神奈川大会特別分科会 成年後見劇実施  
西部地域連絡会活動開始
- 2009年 中部地域連絡会活動開始
- 2010年 「たまひよクラブ」開始（2015年より県士会組織向上委員会事業）
- 2011年 東日本大震災 たきがしら一時避難所にて生活相談実施
- 2013年 第3代徳田支部長就任
- 2012年 「支部間交流 BBQ 大会」開始（2015年より組織向上委員会事業）
- 2015年 第4代中島支部長就任
- 2016年 青葉区連絡会活動開始 横浜支部連絡会交流会開始
- 2017年 第5代島田支部長就任
- 2018年 横浜支部キャラクター「ハグミィ」誕生
- 2019年 第6代松下支部長就任  
北部地域連絡会活動開始（青葉区連絡会合流） 「たまひよユース」開催  
ハグミィプロジェクト「チャレンジ・ド・コンサート」出場
- 2020年 新型コロナウイルス感染症拡大  
オンラインによる活動継続（幹事会、研修会、ハグミィサロン）
- 2021年 第7代江原支部長就任

## 参考資料（４）

### 1) 横浜支部ロゴマーク

支部ロゴマークは2002年11月、横浜市社会福祉士会（神奈川県社会福祉士会横浜支部）設立時に作られました。

作者は血液の難病を患いつつも、ネット上ですぐれたホームページを制作する青年でした。



横浜支部の依頼を受け、港・かもめ・船・いかり・操舵をイメージした、マリブルームのさわやかなロゴマークを作り上げて6日目、青年は脳溢血で倒れ、これが遺作になってしまいます。

しかし作者自身、納得のいくものが出来たと話していたこのロゴマークは、横浜の会員たちに愛され、今でも大切に使われています。

### 2) 横浜支部キャラクター



2018年春に誕生した、横浜市社会福祉士会（公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部）のキャラクターです。1年がかりの公募と投票と準備を経て、2018年5月20日の全体会でお披露目となりました。

色とりどりのハートが国際都市横浜の多様性を表し、そのハートでできているハグミィは、多様性を尊重するハマの福祉を象徴しています。そしてカモメをギュッと抱きしめて、福祉のあたたかさを表現しています。

今、ハグミィは様々な場所に登場して、社会福祉士会の活動や社会福祉士の仕事を紹介しています。とかく“見えにくい”“分かりにくい”と言われる社会福祉士ですが、ハグミィは子どもにも分かりやすく、だれにでも親しみやすく、PRをしています。

またハグミィは、ロゴマークとともに横浜市社会福祉士会のシンボルとなっています。ハグミィを目印に会員が集い、楽しく活動できるようにする、そんな役割も担っています。

### 3) 横浜支部 Web サイト

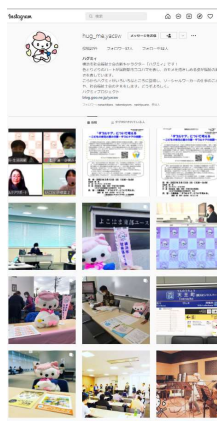
- (1) [横浜市社会福祉士会ブログ \(goo.ne.jp\)](https://blog.goo.ne.jp/yacsw) <https://blog.goo.ne.jp/yacsw>
- (2) [横浜市社会福祉士会 | Facebook](https://www.facebook.com/yacsw/?ref=page_internal) [https://www.facebook.com/yacsw/?ref=page\\_internal](https://www.facebook.com/yacsw/?ref=page_internal)
- (3) [ハグミィ \(@hug\\_me.yacsw\) • Instagram](https://www.instagram.com/hug_me.yacsw/?hl=ja) [https://www.instagram.com/hug\\_me.yacsw/?hl=ja](https://www.instagram.com/hug_me.yacsw/?hl=ja)



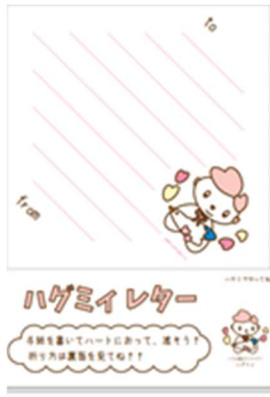
(1) ブログ



(2) Facebook



(3) Instagram



県士会 HP 掲載



「ハグミイレーター」



ZOOM 仮想背景ハグミイ

## 参考資料（5）

### 2022 年度地域連絡会のご案内

神奈川県社会福祉士会横浜支部は、2002 年の発足時から、「より地域に密着した活動」「顔の見える関係作り」を進めようとの思いから、各区・地域の仲間による「地域連絡会」活動を始めました。これは神奈川県の中でも特徴的な取り組みといえます。

2022 年度の横浜支部は、この間の支部の歩みを大切にしつつも、ウィズコロナを模索する現在、これまでの取り組み・スタイルにとらわれない自由な発想を持ち、「より地域に密着した活動」「顔の見える関係作り」を進めていきます。



地域連絡会への参加は、興味のあるテーマがあれば、在住在勤にかかわらず、ほかの地域の地域連絡会に参加することができます。なお、研修会等、定員の管理が必要な場合は事前に募集チラシ等でご案内しますが、そうでなければ、特に連絡なく参加していただいて構いません。ぜひご参加ください。

詳しくは、神奈川県社会福祉士会ホームページやフェイスブック、ブログでご確認ください。